

7月1日(水) 獨協医科大学越谷病院 リプロダクションセンターがオープンします！

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/info/114/2474.html>

獨協医科大学越谷病院では、院内に生殖医療を提供するリプロダクションセンターを開設、本年7月1日(水)より診療を開始します。

獨協医科大学越谷病院 リプロダクションセンター

5つの特色

1. 不妊治療はカップル(男性・女性)が基本 それぞれの専門医が同時に治療

患者さんご夫婦、男性不妊の専門医(泌尿器科医)、女性不妊の専門医(産婦人科医)の4者が同席する機会を設け、ご夫婦の検査結果を踏まえたうえで、ご希望をおうかがいしながら、最善の治療をご提案します。大学病院では極めて稀な取り組みです。

2. 不妊原因の半分は男性にある 男性不妊の生殖専門医による治療

当院の泌尿器科は、男性不妊症の最先端の研究・診断・治療を行っています。精索静脈瘤の手術やTESE(精巣精子採取術)をはじめ、MD-TESE(顕微鏡下精巣精子採取術)は大学附属病院では国内最多の症例を有し、染色体異常のクラインフェルター症候群の患者様に対するMD-TESEの症例数は世界最多の実績です。

男性不妊症の手術はセンター内で行うため、1カ月以内程度ですみやかに手術プランが立てられます。また、場合によっては、遺伝子についての精密検査や最新の精子機能検査を行うことも可能です。

* 日本生殖医学会が認定する男性不妊の専門医は全国に47名(2015年5月現在)。6組に1組のカップルが不妊といわれる現在、専門医が極めて少ないのが現状です。

3. 土曜日も診療、さらに平日19時まで(2015年9月～) キャリアの途切れない不妊治療

仕事と不妊治療の両立に悩む女性は多く、治療のために仕事を辞めるケースも少なくありません。本年9月からは診療時間を延長して、平日は午後7時まで診療する予定です。当院は駅に隣接しておりアクセスがよく、定時退社後にも通院しやすい環境です。キャリアを中断することなく、不妊治療が可能です。

4. がん治療の前に凍結保存 がんの患者様の妊孕性温存

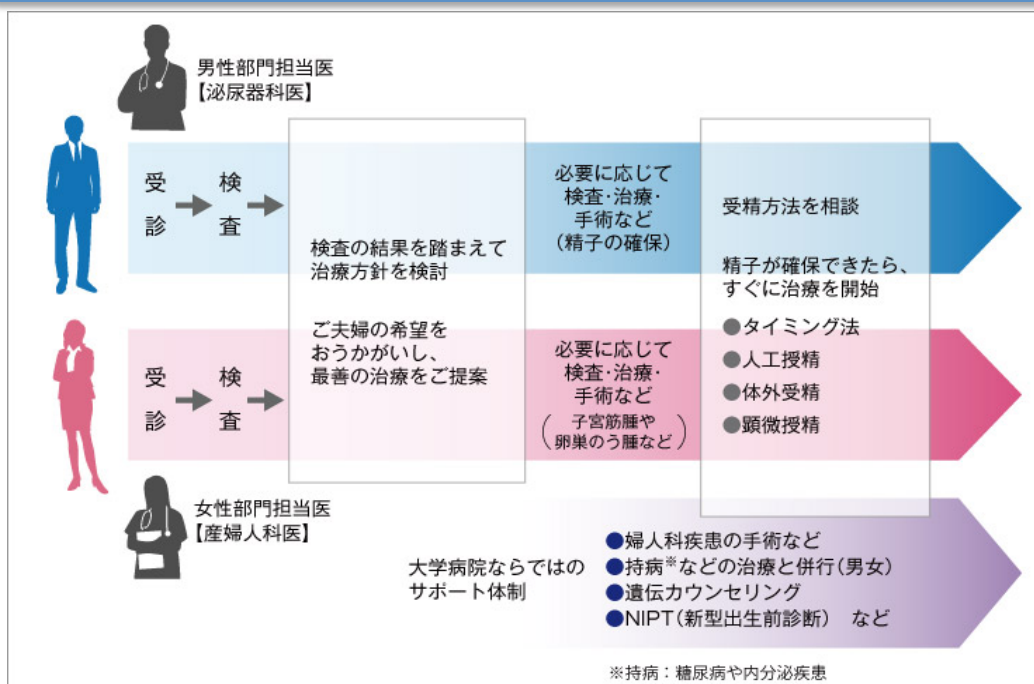
がん患者様の妊孕性温存に積極的に取り組みます。がん治療に入る前に、精子・卵子、また受精卵を凍結保存するもので、血液がん、精巣腫瘍、また将来的には乳がん患者様が、治療後にお子さんが授かるように手助けをします。

5. 大学病院ならではの規模を生かし 新しい診断・治療法を研究開発

大学病院が有する最先端機器や技術による医療の提供はもちろん、動物実験施設を含む本格的な設備で新しい研究に積極的に取り組みます。また、大規模な研究等を実施して、今後の治療に生かしていきます。



男性不妊の専門医(泌尿器科医)と女性不妊の専門医(産婦人科医)がご夫婦の検査・治療にあたり、最善の治療をご提案します。



生殖に重要な時間を費やさず、ここで完結する治療を。

不妊治療はカップルによる治療が基本です。そのため本来は、男性は泌尿器科、女性は産婦人科での検査・治療が必要です。しかし実際には、女性の通院先である産婦人科で男性の精液検査を行い、そこで精子の数や運動率などに問題が見つかった場合、詳しい検査や治療をすることなく、人工授精や顕微授精へと進むのが現状です。

当センターでは、男性不妊は泌尿器科医、女性不妊には産婦人科医が、それぞれ検査・治療にあたり、ご夫婦に適した治療をご提案します。

また、不妊の大きな要因として女性の加齢がありますが（妊孕性の低下、いわゆる卵子の老化）、最近の研究では精子も老化することがわかってきました。男性が検査を先延ばしにする間に女性が年齢を重ねてしまうのは、非常に残念なことです。当センターでは、できるだけ受診しやすいように土曜日も診療します。また夕方の診療も行います（2015年9月以降実施予定）。

また、当センターの大きな特長として、男性不妊を専門とする泌尿器科医が男性側の詳しい検査を行います。

場合によっては高度な治療をしなくても、ホルモン治療や精索静脈瘤の手術を行うことで、今後の自然妊娠が期待できるケースもあります。

また、射精精液中に精子が見つからない無精子症の場合は、TESE（精巣精子採取術）、MD-TESE（顕微鏡下精巣精子採取術）を行うことも可能です。手術はセンター内で実施するので、すみやかに手術プランが立てられます。

一方、女性の治療には、センター専任の女性医師を中心とした産婦人科医があたります。子宮筋腫や卵巣のう腫などで手術が必要な場合は、越谷病院等の産婦人科との連携で手術を行います。

大学病院ならではの最先端医療の提供とともに他科との連携など、総合的な医療体制で患者様の健康をサポートします。



センター長 岡田 弘
(当病院副院長・泌尿器科主任教授)



もうどこへも移らない治療で、新患1万人を目指す

当院泌尿器科では、週1回の診察にもかかわらず、グループ内で年間約2000名の男性不妊患者さんを診察しています。土曜日や仕事帰りの平日夕方も診察する当センター開設により、数年後には年間1万人を超える新規患者様が見込まれます。これにより生殖医療の新しい診断や治療法の研究開発が期待できます。「男性不妊の最後の砦」ではなく、「男性不妊と言われたら、すぐここへ」。大学病院ならではの医療サポートと柔軟な診療体制で、我が子を授かるサポートをいたします。

(プロフィール)

1980年3月 神戸大学医学部医学科卒業、1985年3月 神戸大学大学院医学研究科博士課程修了。
三木市立三木市民病院泌尿器科主任医長、神戸大学医学部附属病院助教授、帝京大学医学部泌尿器科助教授等を経て、2007年より獨協医科大学越谷病院泌尿器科主任教授。2015年、男性の精巣の組織から体外培養で精子を作り出す臨床研究を開始。研究が成功すれば、小児がん治療の影響や無精子症で精子が作れない男性が子どもを持てる可能性が期待できる。

HP「男性不妊バイブル」 <http://maleinfertility.jp/>

【今後の予定】

2015年7月1日(水) 診療スタート
2015年8月 体外受精・顕微授精を開始
2017年 別館に移転、施設拡大

【担当医師】

男性診療部門(泌尿器科医) / 岡田 弘、慎 武、小林知宏、岩端威之、鈴木啓介、下村之人
女性診療部門(産婦人科医) / 宮田あかね

【概要】

名称：獨協医科大学越谷病院 リプロダクションセンター

住所：埼玉県越谷市南越谷2-1-50

電話：048-965-2028

アクセス：東武スカイツリーライン(伊勢崎線)新越谷駅下車、またはJR武蔵野線 南越谷駅下車、徒歩約3分。
車の場合は、外環自動車道を草加ICで下車。

・受診について / 電話による予約制。電話受付時間：月～金曜日、14:00～16:00
リプロダクションセンター TEL.048-965-2028 (予約専用)

診療時間	月		火		水		木		金		土		日
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
外来	9:00-12:00	—	○	○	—	○	○	—	○	○	○	○	—
	14:00-16:00	○	—	(○)*	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術	14:00-16:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—

* 午前中外来がない場合、午後外来あり。

== 本件に関するお問い合わせ先 ==

獨協医科大学越谷病院 リプロダクションセンター

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/info/114/2474.html>

TEL: 048-965-2028 E-mail: repro@dokkyomed.ac.jp

獨協医科大学越谷病院

〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50 TEL:048-965-1111(代表)

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/info.html>